

## 三輪茂町長は 日高町議会3月会議 において 町政執行方針を述べ 行政運営に対する 決意を表明しました。



平成25年日高町議会3月会議の開催にあたり、町政執行につきまして、私の所信を申し述べさせていただきます。町民の皆様をはじめ議員各位の御理解と御協力をいただきたいと思います。

国におきましては、経済を再生させ、「誇りある日本」を取り戻すため、東日本大震災からの復興を目に見える形で大きく前進させるとともに、政策の基本哲学をこれまでのいわば「縮小均等の分配政策」から「成長と富の創出の好循環」へと転換させ、長引く円高・デフレ不況から脱却し、技術革新や新規事業の創出により成長力が強化され、雇用と所得が拡大してゆく経済を目指し、日本経済の再生に向けては、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」を一体として実行していくこととしております。

このような方針に基づき、平成25年度予算は、緊急経済対策に基づく大型補正予算と一体的なものとして、「復興・防災対策」、「成長による富の創出」、「暮らしの安

心・地域活性化」の3分野に重点化する方針を定め、切れ目のない経済対策を実行し、景気の底割れの回避とデフレからの早期脱却及び成長力の強化を図るため、「15ヶ月予算」として編成されました。

基礎的自治体としての私ども市町村としましては、引き続き景気の低迷等により厳しい財政状況の中ではありますが、効率的な財政運営を構築しつつ、公共サービスの更なる質の向上に務め、地域経済の活性化に資する取り組みが効果的に進めていくことが必要となります。

平成25年度の日高町一般会計予算につきましては、日高町総合振興計画の折り返し地点に位置し、計画達成に向けて実施計画を基本に最重要課題に配分するとともに、東日本大震災を教訓とした防災・減災事業を予算化した結果、98億2000万円となりました。前年度予算に対しまして、9億1700万円、8.5パーセントの減となったところでありますが、財政の効率化に配慮しつつも、創意工夫をこらし、「いきいきとした魅力あるまちづくり」に向けた多くの重点課題に取り組

み、総合振興計画の将来像であります。「いきいきと働き、学び、安心と笑顔で暮らせるまち」の実現を目指してまいります。

次に主要な施策の推進について申し上げます。

### 地域産業の振興

はじめに、地域産業の振興について申し上げます。

#### ◎農業の振興

稲作につきましては、安全で食味のよい米作りを推進し、地域ブランドの確立を目指してまいります。

また、水田を有効活用し、転作作物の定着促進と産地形成に向け、水稲主体の経営に代わる地域の振興作物の定着を図るため、経営転換や複合経営を推進してまいります。

平成23年度から実施されております農業者戸別所得補償制度につきましては、「経営所得安定対策」と名称変更し、これまでと基本的に同じ枠組みで実施されることになりました。

# 地域らしさを強調し、 地域の特性にこだわる

施設野菜につきましては、全体としての生産量は伸びておりますが、夏場の異常高温の影響や土壌障害、生産戸数の減少等により出荷量が減少している作物もみられます。輪作作物の導入や作業の共同化を検討し、良質で安定的な野菜の供給に努めてまいります。また、新たな振興作物の導入も進めてまいります。

## ◎酪農業の振興

酪農につきましては、輸入飼料価格の高騰等により生産

## 財政の効率化に配慮しつつ

## 創意工夫をこらし

## いきいきとした魅力あるまちづくり

コストが上昇するなど、経営を取り巻く環境は依然厳しい状況下であり、また、離農により生産農家が減少しております。酪農の生産量と経営を安定化するため、飼料生産の協業化等に関係団体と協力し進めてまいります。

肉用牛につきましては、町内における優良黒毛和牛群の形成を進めるための優良肉用牛繁殖素牛導入事業と、よりレベルの高い肉牛生産を目指した優良繁殖雌牛定着化事業を行うてまいりました。今後

も、防疫事業の徹底と育成技術の向上を図り、質の高い肉用牛経営を推進してまいります。

## ◎後継者対策

農業従事者の高齢化、後継者不足問題に対しましては、関係機関・団体と一体となり支援体制を強化し、道内外からの新規就農希望者の受入れ、農家子弟のUターンの促進などにより農家戸数の維持に努め、新規就農者対策、農業後継者花嫁・花婿対策を積極的に推進してまいります。

## ◎軽種馬の振興

軽種馬につきましては、「強い馬づくり・売れる馬づくり」を実践できる環境整備を図るため、平成24年度に3年間の事業延長が認められた馬産地再活性化緊急事業を活用した事業を継続実施してまいります。

また、軽種馬経営の健全化、安定化を図るため、肉用牛経営、施設園芸などの複合経営又は経営転換を推進してまいります。

## ◎ホッカイドウ競馬

ホッカイドウ競馬の昨年度の発売状況につきましては、主催者をはじめ、競馬関係者のご努力、産地の様々な取り組みにより、計画比及び前年比が100%を超える結果となり、関係者の皆様に深く感謝申し上げる次第であります。

また、昨年度は、強い馬づくりと軽種馬の流通活性化を目的とした屋内調教用坂路の整備やホッカイドウ競馬の馬券を日本中央競馬会の電話投票による発売など、新たな取り組みも実施してまいりました。

本年度におきましても、昨年同様、グランシャリオナイターとして全80日間の開催が門別競馬場で予定されております。「北海道競馬推進プラン」策定3年目を向かえる本年度は、日本中央競馬会の馬券発売に向けた環境の整備が整い、門別競馬場や道内の場外発売所において馬券の発売が開始されるなど、更なるホッカイドウ競馬の経営安定化に向けた取組みが進められます。

競馬場のあるまちとして、門別競馬場を活かした日高町への観光客誘致事業につきま

しても、地域の観光資源と連携した産地らしい観光対策を推進し、町内への観光客誘致、門別競馬場への集客確保にも努めてまいります。

## ◎水産業の振興

水産業につきましては、沿岸水域の水産資源の維持増大と安定的な漁獲を確保するため、藻場・干潟の維持活動として環境・生態系保全活動事業を継続して実施してまいります。また、安定的な漁獲維持のため、シヤマふ化放流事業、マツカワ稚魚放流事業、ホッキ稚貝放流事業、ヒトデ駆除事業等に対し引き続き財政支援を行うてまいります。

## ◎林業の振興

林業につきましては、「災害に強い森林づくり・自然環境を大切に育てる林業」を目標に、新たな日高町森林経営計画に基づき、森林環境保全整備事業等により町有林の育成、保全を図り、良好な森林環境を目指してまいります。

また、民有林における整備事業につきましても引き続き奨励するとともに、地材地消を目指す地場材活用促進事業